

# 明聖TOPICS

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23  
明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:https://www.meisei-hs.ac.jp

Hello! Welcome to school!

## 令和5年度 入学式

学校法人花沢学園 明聖高等学校  
令和5年度 入学式

会場 千葉市民会館大ホール



4月13日(木)、千葉市民会館大ホールにて、全日コース、全日ITコース、通信コース、WEBコースの令和5年度入学式を開催しました。  
式の中で滝本信行校長は、次のようにお話をしました。  
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。(中略)  
新入生の皆さんは、今日が高校生活のスタートになります。皆さんの入学をお待ちしていました。皆さんは、学校生活に期待と不安を抱きながら今日を迎えているかもしれません。でもご安心ください。私たち教職員が一丸になって皆さんをサポートします。

皆さんは、どんな高校生活を送ろうと思っていますか。3年後、どんな自分になっていきたいですか。今までの自分を作り変えよう、または、将来の夢に向かって自分の得意を伸ばし、充実した高校生活を送ろうと、いろいろな思いを抱かれています。はい、いいでしょう。

高校生活は、将来社会に出るための、また自己実現達成のための準備期間でもあります。また、大人になるための準備期間でもあります。大人になるとは、自分と人との違いを認識できることです。自分と同じでないタメというのとは子どもです。そういう力もつけてほしいと思っています。これからの高校生活、自分のペースで一步一步確実に歩んでください。そして、自分作りの3年間であってほしいと思っています。

明聖高校は、生徒の皆さんが主役になって学校生活を作ってほしいという思いから、二年前より全日・全日ITコースで生徒会が発足しました。通信コースも運営委員会を発足しました。通信コースでも部活動に参加できますし、明聖祭にも毎年参加しています。

教師の指示で動くのではなく、皆さんが自分たちで考え行動することで、学校生活を築いてほしいと思っています。

本校の教育目標は、「自主自立」です。皆さん一人ひとりの活躍をとても期待しています。

先月、卒業式がこの会場で行われました。とても素晴らしい卒業式だったと思っています。特に今年度

祝いの言葉

3-1 高橋 苑子



3年生になった君塚さんの送辞と卒業生の叶野さんの答辞は、心に響くものがありました。叶野さんの答辞の中に在校生へのメッセージがありましたのでご紹介します。叶野さんは、生徒会の副会長に立候補して活躍してくれました。抜粋ですが聞いてください。

「私は、中学生の頃、学校に通っていない時期がありました。しかし、私は生徒会を通して、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。今では、挑戦してよかったです。自分か悩んで選んだ選択に間違いはなく、その後どう行動するかで結果が変わってくると私は思います。在校生の皆さん、今やりたいことは今しかできません。些細な事でもまずは挑戦することから始めてみてください。皆さんが挑戦してよかったなと思えることが一つでも増え、高校生活がより充実したものになることを願っています。」という



1-1

メッセージでした。新入生の皆さんも、ぜひ今日をスタートに一步を踏み出す勇気を持ってほしいと思っ  
ています。  
また、自分らしさを大切にしてい  
ほしいと思っています。小説家であ  
り詩人でもあるゲーテは「地上  
の幸せは何か。それは、自分が自  
分であることを失わないことであ  
る」と言っています。高校生活を  
通して、自分らしさとは何かを  
知ってほしい、そして、自分ら  
しさを發揮してほしいと思っていま  
す。それが高校卒業後の進路につ  
ながります。  
また、学校は楽しいことが条件  
ですし、正義の通る集団でなけれ  
ばならないと思っています。一生



1-4

Enjoy your new school life!



懸命やっている生徒がみんなから  
認められる、失敗しても笑われ  
ない空気、そのままの自分であ  
れる空間を大切にできる学校であ  
りたい、そういう学校を、ぜひ皆  
さんと創っていききたいと思っ  
ています。  
(本文は式辞の内容を抜粋して記  
載しております。)



1-7



誓いの言葉

新入生代表  
1・1 砂塚大貴

柔らかな春の日差しに包まれ、草  
木が芽吹く季節となりました。今日、  
私たち新入生348名は明聖高等学  
校に入学します。  
いま、私たちは九年間の義務教育  
課程を修了し、胸いっぱい希望を  
持って高校生としての新しいスター  
トを歩みだそうとしています。  
私たちの中学校生活は新型コロナ  
ウイルス感染症の拡大により、思う  
ようにいかないことも数多くありま  
した。学校行事は次々に中止となり、  
部活動なども制限され、戸惑うこと  
が何度もありました。  
しかし、その混乱の中でも私たち  
は、保護者の皆様や、先生方、周り  
の方々の支えもあり、互いに助け合  
い、困難を乗り越えることができました。  
この経験をこれからの高校生  
活に生かすとともに、勉学はもちろ



1-8

ん、部活動・生徒会活動・学校行事  
においても積極的に取り組み、新た  
な経験を通し、多くのことを学んで  
いきたいと思っています。  
高校生になるといことは、大人  
への第一歩を歩み始めることになり  
ます。慣れるまでは、いろいろと困  
惑し、壁にぶつかるとも多々ある  
と思います。  
そんな時はこの明聖高校の仲間た  
ちと手を取り合い、時には先生方や  
先輩方、家族の力を借りながら少  
ずつでも前に進めるよう、努力して  
まいります。  
私たち新入生一同は、明聖高等学  
校の生徒としての誇りと自覚を持  
ち、教育目標である「自主自立」を  
目指し、充実した高校生活を送れる  
よう、日々心がけて生活していくな  
とを誓います。

1年生

# Day Camp 研修



5月9日(火)に1, 2組が、5月10日(水)に3, 4組が、5月11日(木)に5組が、Day Camp研修をリソルの森で行いました。今年度の研修目標は『思いやりと協調性を身に着ける。』です。リソルの森の豊かな自然とレクリエーションを通して、今年度初となる研修を楽しみました。

リソルの森は千葉県内にある体験型リゾート施設。学校からバスで50分かけて到着しました。森の自然を眺めながら総合グラウンドに移動。入学式以来のクラス写真をパチリ！さあ、Day Campの始まりです！  
まずは事前に希望を取ったレクリエーションを楽しみます。ジップラインは颯爽と空を駆け抜ける爽快感に、歓声をあげながら次々チャレンジしていました。



飛ぶまでは怖くて、友人とどうしようかと騒いでいましたが、やってみるととても楽しかったです。怖がらず挑戦することは大切だと思えました。ジップラインが終わった後、カートで戻るときもみんなと沢山喋って笑うことができました。(1-1 梶村美羽)

## Good! レックジップライン!



テート!

リリパットゴルフは、グループに分かれてラウンドを回りました。思った以上に本格的なラウンドに夢中になって取り組む姿が印象的でした。  
リリパットゴルフをみんなと回ることができてとても楽しかったです。あつという間に時間が過ぎました。周辺の景色も緑豊かで気持ちよくプレーできました。(1-2 吉井快瑠)

レクリエーションの後は、森を散策しながらレストランホール前に移動。施設の方へ挨拶をし、レストランホールでB B Qをしました。B B Qは肉も野菜も盛り沢山。レストランホールのテラスにある



ゴルフ!



ピース

B B Q スタンドを使い、それぞれ思いおもいの焼き加減で、肉を堪能していました。

炊事班は初めて話す人はかりでしたが、新しい友人を作るきっかけになり、仲良くなることができました。みんなで食べたお肉もとってもおいしかったです。(1-3 高柳希海)

帰りのバスでは寝顔もちらほら。日帰りの研修ではありますがレクリエーション、B B Qを楽しむことができ、エネルギーがフレッシュな研修となったのではないのでしょうか。

BBQ!



Happy

僕はDay Campを通して協力することの大切さを学びました。レクリエーションやB B Qはみんなと協力することでとても楽しいものになりました。この研修で仲良くなった友人もできたので、今以上に信頼関係を築けたらと思います。色々なことを学べた研修でした。(1-4 田中浩太郎)

研修当日は朝からみんなの表情がとても明るくて、男女関係なく会話が広がり笑顔がいっぱい見られました。レクリエーションやB B Qでも協力して準備をし、「ありがとう」が飛び交いました。クラスの仲を深めることができた研修だったと思います。(1-5 下田琉星)



皆でサッカー!



通信コース

『スクーリングってこんな感じ』

新年度が始まり、約2ヶ月が過ぎました。新入生は、まだまだ学校生活や学習の仕方に戸惑う様子が見られます。しかし、休憩中の会話があつたり、部活動に参加したりと少しずつ交流も見られ、徐々に打ち解けてきています。

また、2・3年生では、落ち着いた雰囲気の中、真剣な姿勢で授業を受け、スクーリングやレポートは率先して取り組んでいます。

通信コースにおいても、先生方がみなさんのサポートをしていきます。科目やJRを担当するだけでなく、学習活動に関する質問や相談、3年生では進路指導も行っています。通信コースのみなさんが、安心して学習活動に取り組めるよう、フォローをしていきたいと思えます。



部活動報告

◆硬式野球部◆

「新入部員加入!! 夏へ向けて」

硬式野球部はこの4月に19名の新入部員が加わりました。部活動においては、野球の技術だけではなく礼儀や挨拶、人間性を重視しており、日本一挨拶が気持のいいチームを目指しています。

7月8日(土)には第105回全国高等学校野球選手権千葉大会が始まります。強豪ひしめく千葉県内で勝ち上がっていくことは簡単ではありませんが、昨年の先輩を超えるベスト8以上を目指し、計40名の部員で日々練習に励んでいます。今年はいよいよ声出しの応援も解禁されますので、応援をよろしく願います。

また、硬式野球部ではマネージャーを募集しています。大変なこともありますが、自分を成長させたいという気持ちや、人を支える職業に興味がある人は野球の知識がなくても大歓迎です。先輩マネージャーや部員が優しくレクチャーしてくれるので、ぜひグラウンドまでお越しください。



硬式野球部 Instagramはこちら↓



目指せ、甲子園!

生徒会活動報告

生徒会では、昨年度に引き続き「生徒主体の学校づくり」を目標に活動しています。今年度はすでに入学式在校生スタッフとして入学式に参加したり、部活動紹介、委員会紹介などを実施したりしました。生徒たち自身でできることを考え活動しています。

①入学式在校生スタッフ

今年度最初の活動として、今年度の入学式当日に受付や、会場案内などを在校生が行いました。始めは緊張した面持ちでしたが、新入生の不安が和らぐよう、明るく元気に活動しました。

②部活動紹介・全学年交流会

今年度はポर्टアリーナに  
て、全学年を対象とする交流会も同時に実施しました。新入生を迎え入れる穏やかな雰囲気、生徒達からも笑顔が溢れました。

③委員会紹介

各専門委員会の委員長を中心に委員会の紹介動画を作成しました。5月から1年生を交えての活動も始まっています。学校生活がより楽しく、より充実したものになるよう、課題に主体的に取り組むことを目標としています。



編集後記

4月に新入生を迎え、新年度がスタートしました。1年生は、Day Campを通して親交を深め、普段の学校生活でも活気づいてきました。

また、部活動紹介やレクリエーションを通して、学年を超えた交流も見受けられ、学校全体の雰囲気がいよいよ良くなってきているのを感じます。

6月初旬には2年生のキャンプ研修が始まります。今後各行事で生徒が活躍する姿をお伝えしていきます。

荒井朝陽

